



地域資源や地域特性を活かした特色のあるまちづくりを推進するため「地域の力(考え)で地域を育てる」**地域まちづくり**をすすめています。市内各地域の地域まちづくり活動団体によって取り組まれている地域まちづくりなどを**地まちのチカラ**で情報発信します。

2024.1.31  
vol.98

## 《まちづくりスキルアップ講座のお知らせ》

### 地まちNEWS



暮らすまちの歴史、根付いている文化、土地の風土、まちの人々に目を向けると、今いる場所が、特別な場所になっていくかも。「調べる」基礎と、奥深さをお伝えします。

参加費  
無料



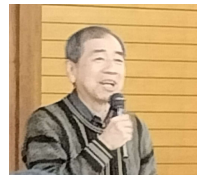
【日時】3月3日(日)  
13時～16時45分  
【場所】名古屋都市センター  
【講師】都市計画の専門家  
杉山正大さん &  
名古屋都市センター職員  
【※切】2月15日(木) 16時  
【対象】まちのことが知りたい方  
【申込】左の二次元コードまたは、ホームページをご覧の上、メールでも可。

## 《平針学区 HP作成が進んでいます》

### 平針学区連絡協議会

### 地域の取組み

天白区の平針学区では、高齢化などに伴う町内会加入者の減少、それによる地域内の情報共有不足などの課題をきっかけに、**情報発信・共有のためのホームページ作成**を行っています。この日は平針新公民館に、消防団、PTA、女性会、子ども会など学区内の様々な団体の代表が集合し、天白区役所からはコミュニティサポーターも参加。作成中のホームページ画面を映し出ししながら、ページごとの特徴や作成意図などの説明が行われました。「各種団体の紹介ページは団体自らが記事を作成する」と聞いた参加者からは、自分たちでホームページを更新することへの不安の声も出ました。一方で、「せっかくホームページを作るなら見てもらえなければ意味がないので、もっと費用をかけたアクセス解析などで、よりよいものになるよう力を入れるべきではないか」と参加者の一人が会場全体に問いかける場面もありました。さらに、「ホームページで行政の配布物などが閲覧できれば紙の削減につながり税金の無駄を減らせる」「若い人が平針に住みたい、帰ってきたいと思えるような工夫をしてほしい」といった話もあり、地域のみならずの熱い提案や質問が活発に行われる時間となりました。2月中にはホームページを立ち上げる予定とのこと。どんなページに仕上がりが、更新されていくのか楽しみです。



当日は参加者との  
活発な質疑応答が  
行われました

説明するのはHP作成地元企業(左)連絡協議会委員(右)のお二人

## 地まちチャレンジ まちづくりを行う“人”にフィーチャーしたインタビュー



44人目  
柿本知樹さんご紹介  
信州善光寺東山別院 功德山瑞光寺  
住職 佐々木 康人さん

Q まちづくりに取組んできた中でうれしかったこと  
A 参加者が笑顔になってくれること。  
Q これから取り組みたいと考えていること  
A 現在行っていることを、しっかりと継続していきたいと思っています。  
Q 最後にひとこと  
A 今回ご縁をいただきまして、ありがとうございます。活動を通して、このようなご縁をいただけることはとてもありがたいことだと思っております。継続こそ「力、だ」と思いますので、お支え頂いている方々に感謝し行って参りたいと思います。

今回お話を伺ったのは、名東区一社駅から徒歩10分ほどのところにある「功德山瑞光寺」の住職・佐々木さんです。瑞光寺では、毎月第4日曜日に地域の八百屋やヨガ教室の方々が境内に集まり、朝マルシェを開催しています。出店者の方々は地域のつながりをきっかけにご縁ができたとのこと。お寺でヨガとはなんとお考えられます。そのほか本堂などで行っている子ども食堂は、地域で料理教室をしている方が「やりたい!」と手を挙げたことで実現したそう。精進料理を作るなど体験型の内容で、楽しみながら食への感謝を学ぶことができます。佐々木さんが瑞光寺をこのような開かれた場にしたのは、「お寺」という場所から、勉強に励んだり地域の人々が集まったりするという役割が薄まってしまい、昔と比べて地域の方にとっての「身近な場所」でなくなってしまうと感じたことがきっかけです。もっと地域の方に気軽に立ち寄りもらえる場所にしたい、人々の生活の一部になるような「コミュニティ」としての役割を取り戻したい、極力門戸を開いたお寺でいたいという想いで活動されています。そんな想いとおおり、取材当日も子どもたちが集まり書道教室が開催されていました。近くにこんなお寺があったら折に触れて何度も通いたくなりそうです。ちなみに、4月の花まつり(お釈迦様の誕生日を祝う仏教行事)頃にはお寺を一日中完全開放する日があるそうです。近隣学校のプラスバンド部の演奏、本堂でのジャズコンサート、キッチンカーそしてエア遊具など、当日は大変な盛り上がりを見せます。前回の参加者はなんと約500名。年に一度しかない貴重な日、みなさんもぜひ足を運ばれてはいかがでしょうか。

